

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月4日

上場会社名 株式会社インテージホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4326 URL <https://www.intageholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仁司 与志矢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 竹内 透 (TEL) 03-5294-7411
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	14,361	△4.6	572	205.6	565	429.2	292	△74.2
2025年6月期第1四半期	15,057	5.2	187	△5.7	106	△66.1	1,132	653.8

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 337百万円(△72.5%) 2025年6月期第1四半期 1,227百万円(278.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	7.65	—
2025年6月期第1四半期	29.70	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	44,673	32,797	73.0
2025年6月期	46,922	33,321	70.6

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 32,611百万円 2025年6月期 33,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	1.5	2,000	12.3	2,000	14.7	1,000	△50.4	26.20
通期	70,000	6.8	5,600	32.0	5,500	33.1	3,200	△8.7	83.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期1Q	40,426,000株	2025年6月期	40,426,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	2,231,320株	2025年6月期	2,237,920株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期1Q	38,188,941株	2025年6月期1Q	38,129,380株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日から2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されます。ただし、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社グループが事業を展開するアジア地域の景気は中国では足踏み状態が続くと見込まれますが、各国では持ち直しや回復の動きが見られます。

当社グループは、第14次中期経営計画のグループ基本方針である「Data + Technology企業としてのNew Portfolioへ－新たな価値発揮の創出－」の実現に向けて、最終年度となる当連結会計年度において『Growth with Optimization』を基本方針として掲げ、「基幹事業」と「成長事業」を明確にした事業運営にシフトすると共にグループ総合力を高めるための組織・機能の統廃合を含めた最適フォーメーションへのシフトを推進することで、分散から統合を促し経営資源を最適配分しやすい組織構築と中長期的な成長が見込まれる事業への資源配分を進めてまいります。

当社は、2025年7月1日付で執行役員を増員いたしました。各事業分野における専門知識と経験を持つ人材を当社経営に集中的に登用・任用することにより、事業間の連携によるビジネス創出やセグメントを超えた事業領域を拡大しグループの成長スピードを加速させることで、業務執行に係る意思決定迅速化とグループ経営の最大化を図ります。

併せて、多様な経営人材の確保とその参画を通じて、経営の透明性向上とコーポレートガバナンスの強化に努めるとともに次世代リーダーや将来の経営陣を育成し、持続可能な成長を目指します。

マーケティング支援（消費財・サービス）事業においては、基幹事業であるパネル・カスタムリサーチの堅実な成長を見込むとともに、顧客への提供価値の向上と生成AIの活用によるプロセス変革を通じて、更なる収益性の向上を目指します。また、成長領域として、株式会社NTTドコモとの連携によるマーケティングソリューション事業をリデザインし、データ活用コンサルティングの推進やCXマネジメントの体制・基盤を強化してまいります。

マーケティング支援（ヘルスケア）事業においては、ヘルスケアにおける意思決定パートナーの実現に向けて、プロモーション、コミュニケーションといった新領域への事業拡大を図ると共に、Patient Centricity（※1）の視点に基づいた新たな提供価値の創造に向けた取り組みを推進してまいります。

また、AIやグループアセットの活用により業務効率の向上や顧客期待値を超えるための取り組みを加速してまいります。

ビジネスインテリジェンス事業においては「10年先も選ばれ続けるDXパートナーになる」を基本方針に、データ統合基盤・活用ビジネスの継続拡大、企画力/提案力/プロジェクト推進力強化によるビジネス基盤の盤石化、業界共通課題へのソリューションを提供するストックビジネスの確立を重点課題として掲げ、事業成長を加速してまいります。

グループ全体としては基幹事業の最適化と成長事業の伸長を進めながら、これまで通り安定的な財務基盤に基づく資本政策の強化、グループ間連携のビジネス創出、人的資本を始めとした非財務資本増加のための施策実施、及びサステナビリティの強化等を推進しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高14,361百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益572百万円（同205.6%増）、経常利益565百万円（同429.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は292百万円（同74.2%減）となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

①マーケティング支援（消費財・サービス）事業

マーケティング支援（消費財・サービス）事業の連結業績は、売上高10,041百万円（前年同期比0.2%減）、営業損失40百万円（前年同期の営業損失は290百万円）となりました。

当事業では、基幹事業であるパネル調査・カスタムリサーチは好調に推移し、成長領域のマーケティングソリューション事業も前年を上回っております。一方で株式会社インテージリサーチは前年の大型案件の反動により減収になっております。

利益面では、パネル調査・カスタムリサーチの増収効果に加え、投資費用が減少したことなどにより、前年同期に比べ営業損失は縮小いたしました。

②マーケティング支援（ヘルスケア）事業

マーケティング支援（ヘルスケア）事業の連結業績は、売上高2,727百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益507百万円（同81.1%増）の減収増益となりました。当事業においては、株式会社インテージヘルスケアにおけるCRO事業の売却の影響で減収となりましたが収益性は大幅に改善しております。

また、株式会社インテージリアルワールドが売上・営業利益ともに前年を上回る水準で推移しております。

③ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高1,592百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益105百万円（同46.4%減）の減収減益となりました。当事業では、株式会社インテージテクノスフィアにおいて重点領域であるデータ統合基盤・活用ビジネスが堅調に推移した一方で、株式会社ビルドシステムにおいて前期ローコード開発案件活況の反動減により前年を下回る水準で推移しております。

利益面については、売上減少の影響を受け減益となっておりますが前期に引き続き価格の適正化、委託費コントロールや業務効率化などによる収益性の改善に取り組んでまいります。

※1 Patient Centricity：医療サービスの提供や医薬品の開発において、患者の視点やニーズを最優先する考え方

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,131百万円減少し、28,402百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が177百万円、仕掛品が769百万円増加したものの、現金及び預金が2,808百万円、その他が261百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、16,271百万円となりました。これは、その他無形固定資産が129百万円、退職給付に係る資産が47百万円増加したものの、のれんが82百万円、投資有価証券が115百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,249百万円減少し、44,673百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,707百万円減少し、10,859百万円となりました。これは、その他が268百万円増加したものの、未払法人税等が889百万円、賞与引当金が1,041百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、1,015百万円となりました。これは、その他が13百万円増加したものの、リース債務が21百万円、株式給付引当金が10百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,726百万円減少し、11,875百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ523百万円減少し、32,797百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が56百万円増加したものの、利益剰余金が574百万円減少したことなどによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,269,232	12,460,944
受取手形、売掛金及び契約資産	10,030,855	10,207,991
商品	21,923	21,421
仕掛品	1,773,681	2,543,640
貯蔵品	79,753	71,069
その他	3,365,794	3,104,742
貸倒引当金	△7,895	△7,675
流動資産合計	30,533,345	28,402,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,326,190	1,290,320
器具備品（純額）	368,727	360,232
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産（純額）	207,915	172,958
有形固定資産合計	3,900,989	3,821,668
無形固定資産		
のれん	2,568,963	2,486,130
その他	3,173,261	3,302,562
無形固定資産合計	5,742,224	5,788,692
投資その他の資産		
投資有価証券	2,561,762	2,446,718
繰延税金資産	1,477,774	1,474,819
退職給付に係る資産	1,111,165	1,158,308
その他	1,879,095	1,875,038
貸倒引当金	△283,698	△294,058
投資その他の資産合計	6,746,098	6,660,826
固定資産合計	16,389,313	16,271,187
資産合計	46,922,658	44,673,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,703,933	2,669,386
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	120,687	100,986
未払法人税等	1,231,767	342,046
賞与引当金	2,315,670	1,274,222
ポイント引当金	2,275,174	2,284,885
その他	3,819,902	4,088,327
流動負債合計	12,567,135	10,859,855
固定負債		
リース債務	118,887	97,362
株式給付引当金	132,864	122,150
退職給付に係る負債	294,355	293,050
資産除去債務	397,222	398,143
その他	91,139	104,786
固定負債合計	1,034,470	1,015,494
負債合計	13,601,605	11,875,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,706	2,378,706
資本剰余金	1,796,274	1,796,274
利益剰余金	31,961,063	31,386,822
自己株式	△3,334,616	△3,329,378
株主資本合計	32,801,428	32,232,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,747	43,494
為替換算調整勘定	700,872	684,613
退職給付に係る調整累計額	△360,639	△348,931
その他の包括利益累計額合計	327,485	379,177
非支配株主持分	192,139	186,370
純資産合計	33,321,053	32,797,972
負債純資産合計	46,922,658	44,673,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	15,057,972	14,361,563
売上原価	9,792,868	8,764,334
売上総利益	5,265,104	5,597,228
販売費及び一般管理費	5,077,745	5,024,693
営業利益	187,358	572,535
営業外収益		
受取利息	6,710	11,283
受取配当金	30	—
持分法による投資利益	3,083	1,497
助成金収入	8,262	11,283
貸倒引当金戻入額	40,318	—
その他	1,314	13,079
営業外収益合計	59,717	37,143
営業外費用		
支払利息	2,178	1,440
投資事業組合運用損	16,691	23,076
為替差損	117,845	—
貸倒引当金繰入額	—	9,319
その他	3,569	10,705
営業外費用合計	140,285	44,541
経常利益	106,791	565,137
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,936
事業譲渡益	1,588,041	—
特別利益合計	1,588,041	3,936
税金等調整前四半期純利益	1,694,832	569,073
法人税等	570,799	279,836
四半期純利益	1,124,032	289,237
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,336	△3,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,132,369	292,278

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,124,032	289,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,660	53,797
為替換算調整勘定	153,300	△17,439
退職給付に係る調整額	△5,875	11,707
その他の包括利益合計	103,764	48,065
四半期包括利益	1,227,797	337,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,227,624	343,970
非支配株主に係る四半期包括利益	172	△6,666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	10,066,208	3,184,347	1,807,417	15,057,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,066,208	3,184,347	1,807,417	15,057,972
セグメント利益又は損失(△)	△290,115	279,983	197,490	187,358

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティング支援(消費財・サービス)」セグメントにおいて、株式会社ドコモ・インサイトマーケティングの株式を取得し連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては2,198,676千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	10,041,615	2,727,001	1,592,946	14,361,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,041,615	2,727,001	1,592,946	14,361,563
セグメント利益又は損失(△)	△40,334	507,055	105,813	572,535

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	322,233千円	278,366千円
のれん償却額	85,283 〃	82,833 〃